

6月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
06/06/01 (木)	東京は「ムディーズ」報道にも関わらずドル高基調。ただ需給的に上値は重く、113円台には定着出来ず。欧米は発表された米経済指標をめぐり右往左往。ただ終盤はややドル買い優勢。	・ムディーズが日本の格付けをA2「安定的」から「ボジティブ」に引き上げ ・第1四半期ユーロ圏GDP改定値0.6% ・4月の米建設支出 0.1%、5月の米ISM製造業景気指数54.4	・春日銀審議委員「為替への影響もゼロ金利解除のひとつの判断材料」 ・渡辺財務官「G8での主要議題はエネルギーと世界経済」	112.50	144.17	寄付
				112.36	143.73	安値
				113.38	144.37	高値
				112.70	144.29	終値
06/06/02 (金)	東京は前日の写真相場。一時113円手前までドル買い進むも、輸出売りなどに阻まれ乗せられず。欧米は米雇用統計が予想以上の悪化を示したことでドル急落。対円、ユーロとも100P以上値を下げた。	・4月の米製造受注 1.8%、5月の米失業率4.6%、同非農業者雇用数7.5万人	・米財務長官「中国の人民元改革の進展には不満」 ・シカゴ連銀総裁「インフレは容認レンジの上限、いずれ調整必要」 ・イラン大統領が対イラン包括案を拒否する意向を示す	112.47	144.19	寄付
				111.32	144.05	安値
				112.94	144.73	高値
				111.74	144.33	終値
06/06/05 (月)	東京は地政学リスクの高まりもあり円買い優勢。しかし本邦株価が大きく崩れたこともありドル反転。欧米は米情報社レポートの噂にFRB議長発言を受けて対ユーロ中心にドル堅調視。	・米情報社が「6月のECB利上げは50BPではなく25BP」とのレポート送信の噂 ・5月の米ISM非製造業景気指数60.1	・イラン最高指導者ハメネイ師「米欧が誤った行動を取れば中東エネルギー輸送は深刻な打撃を受ける」 ・FRB議長「長期インフレ期待は上昇」「コアインフレの上昇は歓迎出来ず」	111.70	144.39	寄付
				111.43	144.33	安値
				112.30	144.97	高値
				112.25	144.88	終値
06/06/06 (火)	東京は株安もあり円売りでスタートするも、米上院財政委委員長の発言などを受けドル売り優勢。欧米はSL連銀総裁の発言などから一転してドル買い優勢。終盤も勢い衰えず。		・グラスリー米上院財政委員会委員長「ボールドウィン次期財務長官は中国に対してより柔軟な人民元相場の導入を積極的に求める」 ・SL連銀総裁「利上げ若干行き過ぎの方が安全」	112.30	144.82	寄付
				112.06	144.52	安値
				113.57	145.47	高値
				113.32	145.42	終値
06/06/07 (水)	東京は日経平均が300円近く下落したこともあり円売り続く。ただユーロはその円より冴えない。欧米は当初揉み合い。しかしアトランタ連銀総裁の発言を受けてドル買戻しが優勢に。	・5月末外貨準備高8641.12億ドル、4月の景気先行指数50.0 ・豪州が金利の据え置き決定 ・トルコ中銀が政策金利を1.75%引き上げ ・4月の米消費者信用残高106億ドル	・仏経済財務相「現在の1.30ドルは良い水準」 ・アトランタ連銀総裁「おそらくコアインフレは容認水準を越えている可能性がある」	113.15	145.16	寄付
				112.92	144.70	安値
				113.69	145.27	高値
				113.57	145.20	終値
06/06/08 (木)	東京は株安に加えABCニュースなどもありドル買い・円売り目立つ。終盤114円台をワンタッチも。欧米は金融政策の変更が相次ぐも相場に与えた影響は限定的。むしろ質への逃避からドルが堅調視。	・NZが政策金利を据え置き ・英国が政策金利を据え置き ・ECBが25BPの利上げ動意 ・インド中銀が25BPの利上げ動意 ・南アフリカ中銀が50BPの利上げ ・4月の米卸売在庫0.9%	・ABCニュース「米軍の空爆でアルカイダのザルワイル容疑者死亡」 ・オーストラリア中銀総裁「金利は引き続き低水準」 ・ジョンFRB副議長「最近のインフレ指標は問題」	113.42	145.20	寄付
				113.42	144.32	安値
				114.74	145.71	高値
				114.25	144.52	終値
06/06/09 (金)	東京はある種の達成感もあってドル売り優勢。良好な機械受注もドル売り・円買いを促進させた。欧米は米貿易赤字が予想を下回ったことでドル買いが進行するも114円台では逆に上げ渋りの様相。	・4月の機械受注10.8% ・4月の米貿易赤字 634.3億ドル、対中 170.34億ドル、対日 77.95億ドル	・谷垣財務相「急激な為替の動きは歓迎しない」 ・フィラド中銀総裁「中銀は必要とあれば行動する」	113.97	144.09	寄付
				113.55	143.73	安値
				114.35	144.34	高値
				113.98	144.06	終値
06/06/12 (月)	東京は週末G8が期待外れに終わったとの見方から一時円売り優勢となるも続かず、行ってくる。欧米は米金利先高感などからドル小じっかり。ただ上値は輸出オフアなどに遮られ頭も重い。	・第1四半期GDP改定値0.8%、4月の経常黒字1兆2823億円、同貿易黒字7556億円 ・5月の米財政赤字 428.3億ドル	・週末G8財務相会合声明で為替の言及なし ・スウェーデンECB専務理事「利上げ時期は決まっていない」 ・クリブランド連銀総裁「コアインフレはわたしの容認水準を超えている」	114.28	144.11	寄付
				113.97	143.65	安値
				114.59	144.29	高値
				114.38	143.97	終値
06/06/13 (火)	東京は株価の大幅安もあり終盤に掛けて円安進む。ドル/円は115円に迫る。欧米は世界同時株安のなか資金逃避の動きから結果ドル高。損切りを巻き込みつつ115円台へ上伸。	・日経平均株価が前日比 614.41円と5年ぶり大幅安 ・6月のユーロ圏ZEW景気期待指数37.8 ・5月の米PPIは0.2%、同小売売上高0.1%、同企業在庫0.4%	・一部朝刊紙に福井日銀総裁による村上Fへの資金拠出記事、その後小泉首相は「とくに問題ない」 ・6月月例経済報告「景気は回復している」(基調判断据え置き)	114.42	143.94	寄付
				114.25	143.88	安値
				115.45	144.94	高値
				115.43	144.67	終値
06/06/14 (水)	東京は日経平均の反発などもありドルが軟落。ドル/円相場は114円台へと押し戻された。欧米は人民元切り上げ思惑などで円買い先行。しかし米利回り上昇を受けて終盤はドルの反発も。	・5月の英失業率3.0%、同増加失業者数5800人 ・5月の米CPIは0.4% ・米地区連銀報告「経済は引き続き拡大基調、ある程度の減速の兆候がみられる」	・米大統領「FRBはインフレの兆候を注視」 ・バイズFRB理事「コアインフレはわたしの容認水準以上」	115.25	144.62	寄付
				114.46	144.38	安値
				115.41	145.18	高値
				115.05	144.91	終値
06/06/15 (木)	東京は人民元高などもあり円も連れ高推移。朝安のあと円は小じっかり。欧米は材料多過ぎ逆に焦点絞れず。ドル/円相場は115円挟みで方向性に乏しい。	・日銀が金融政策据え置き決定 ・スイスが25BPの利上げを実施 ・4月の対米証券投資467億ドル、5月の鉱工業生産 0.1%、同設備稼働率81.7%、6月のNY連銀製造業指数29.0、同FF連銀指数13.1	・日銀総裁「当預削減終了とゼロ金利終了はまったく別の問題」 ・FRB議長「エネルギー価格の急騰はインフレ予想を押し上げる」	114.91	144.88	寄付
				114.64	144.80	安値
				115.23	145.30	高値
				114.75	144.99	終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで